

令和3年11月19日(金)

## 杜の子ども会 第5回



## あかグループ

朝の自由遊びでは一緒にカードゲームをしたり、お絵描きや製作をしたりしてお友だちと一緒に楽しんでいました。年下の子どもも年上の子どもの遊ぶ姿を見て、一緒にやってみようとする姿もみられましたよ。

干し柿作りでは、触ってみたり匂ったりと、柿に興味津々の子どもたち。お友だちがピーラーを使って皮を剥く時には年上の子どもが「うえらへん持った方がいいんちゃう？」「気を付けてね！」等とアドバイスをし、優しく見守る姿がみられましたよ。柿をお湯で殺菌した後に廊下に柿を吊るして、皆で「美味しくなあれ」の気持ちを込めてパワーをたくさん送りました。

かごめかごめでは、後ろのお友だちの声を良く聞いて答えたり、周りの子どもが「ヒントは〇〇組さん」「〇から始まる名前の子」等とヒントを出す姿が素敵だなと感じました。

残り少ない子ども会ですが、より異年齢での関わりを楽しめるように取り組んでいきたいと思ひます。

垣内



## あおグループ



今回は干し柿作りをしました。まず3チームに分かれて柿の手触りや匂い等確かめていました。ピーラーで皮むきをして、上の学年の子どもたちが中心となり「順番にむいてこう」と進めていました。下の学年がむいている時は「指、気を付けや」とも声を掛けてくれていました。皮むきが終わり、竹串で刺してから園庭にいきお湯にくぐらせました。その後、廊下のフックにかけて干し柿が出来るのを楽しみにしているようでした。

干し柿作りの後はボール(柿)回しゲームをしました。ピアノの音が止まるまで隣へ隣へと楽しんで回していました。音が止まると「あちゃ〜」と持っている子どもも周りの子どもたちも声を挙げて喜んでいました。

足立



## きみどりグループ



杜の子ども会の集まりに慣れてきたようで、笑顔で元気よく登園する子どもが増えてきました。「今日何するん？」と尋ねる子どもがいて、子ども会での活動を楽しみにしてくれていることに、嬉しく思います。

今回の干し柿作りでは、まず3チームに分かれて皮むきをすることに。皮が固くてピーラーで剥くのに時間がかかる子どもがいましたが、「ここ持ったらいいねん」と具体的に年下の子どもに伝えたり、「まだこの子やってないで」と代わりに年上の子どもにも声をかけたりする姿が見られました。その後、柿に串をさす保育者に「あと1個！」とみんなで応援したり、大きな声で10秒数えながら茹でる様子を見たりと、異年齢での干し柿作りを楽しみました。

自由遊びの時間では、庄内エキスポで使用した乗り物に乳児が乗り、スピードを調整しながら動かす年長児の姿や、年上の子ども達が製作でフライドポテトを作る様子を眺めて真似する姿が見られました。森下



# きいろグループ



今日のお当番は年少組。朝の挨拶ではピシッと気を付けをして、大きな声で挨拶をしていました。その後は3グループに分かれて干し柿作りをしました。保育者がピーラーの使い方を説明する前に、「手が切れちゃうからあぶない！」「こうやって持つねん！」と身振り手振りを交えながら年長組だけでなく年少組も自信を持って、皆に伝える姿が見られましたよ。ピーラーを使う時には、使っているお友だちをじっと見て危なくないか確認する優しい姿が各グループ見られました。皮を見て「どんな味するんやろ？」と興味を持ち、実際に舐めてみると「最初は柿の味がするけど...」と少し苦そうな表情で教えてくれました。



保育者が柿を串に刺すことが出来ると「おー！！」「できたー！」と皆で盛り上がったきいろグループでした。

深田



# みどりグループ



朝の会でのお当番は、もも組とうさぎ組。張り切って前に出てお当番をしてくれました。今日のメインは干し柿作り。年長組がお手本となり、ピーラーで柿の皮を剥き、全員が剥く経験をしました。普段から給食のお手伝いで、野菜の皮を剥く経験をたくさんしている幼児クラスのお友だちはとても上手に剥いていましたよ。剥いた柿を10秒茹でてもらいました。みんなで「い〜ち、に〜い...」と数え、茹で上がると「何か色が変わってる〜」と変化に気付いていましたよ。その後、柿のネックレスを作りました。紙を丸め、オレンジ色の折り紙で巻いて、緑の折り紙を手でへたの形にちぎり、それを貼り付け、リボンを付けたら、個性あふれる柿のネックレスが出来ました。分からない事を年上のお友だちが教えてくれたり、手伝ってくれたりして、年下のお友だちは嬉しそうに過ごしていたことも会になりました。藤田



# みずいろグループ



今回のこども会は干し柿作り。「やったことあるで！」と言う頼もしい年長組のお友だちを手本に、年下のお友だちもピーラーで柿の皮を剥いたり、剥いた柿を竹串に刺したりしました。下準備した柿をお湯に浸けてみんなで10秒数えると、「なんかちっちゃくなった？」と変化に気付く声や、「次水色グループで遊ぶ時にはめっちゃ甘くなってるんちゃう？」と言う姿がありました。その後は「なべなべそこぬけ」をしました。2人組から4人組、8人組と人数を増やし、最後はなんと全員で！年長組のお友だちが「ここにおいで〜」とトンネルを作ってくれて、年下のお友だちはそこをくぐり抜けて見事成功？手が離れてしまっても乳児のお友だちを迎えに行く姿が素敵でした。

永岡



# ももいろグループ



今回はみんなで干し柿を作りました。りす組から年長組の子どもまでが、1人ずつ順番にピーラーを使って皮を剥きます。同じグループの友だちが皮を剥く様子を真剣な表情で見て、自分の順番になると、保育者と一緒に固い皮に苦戦しながらも頑張っ剥いていました。剥き終わった柿と剥く前の柿の色を比べて、「色が変わってる！」と変化に気付く姿も見られました。「干す前の柿はどんな味がするかな？」という疑問から、剥いた柿の皮を舐めた子どもたち。「ピリピリする！」「あまい！」と各々の感想を共有し、終始和やかな雰囲気の中で楽しく活動が出来ました。その後は、剥き終えた柿を串に刺し、みんなで茹でるところを見に行きました。その後クラスの前で柿を干し、「しわしわになったら食べよう！」と、今から干し柿を食べることを楽しみにしている様子のももいろグループでした。

京極

